

学校 番号	34	学校名	蓼科 高等学校
----------	----	-----	---------

令和3年度学校評議員活用状況報告書

第 1 回学校評議員会 【令和 3年 6月 24 日（木）実施】

1 実施概要（協議研究事項を含む）

午前10時00分～11時40分

- 1 学校長挨拶・学校評議員委嘱
- 2 自己紹介
- 3 学校の活動状況 説明
生徒指導、進路指導、学校教育目標、評価の観点、新入生アンケート結果、生徒募集・広報、ポプラ・アカデミー、地域の未来創る教育・地域担う人材育成
- 4 意見交換

2 今回の実施に当たって工夫したこと

- 昨年6月には新型コロナの状況下で開催できなかったが、学校評議員を活用した学校づくりに向けて、換気や手指消毒等を徹底して会議を開催した。
- 期末テスト前の大事な時期の開催だったが、休憩時間を設けて関係職員が自習指示等を行いながら、会議にも参加できるようにした。
- 魅力的な学校づくりや進路や地域を意識した連携・学校教育について、共通理解を進め建設的な意見やさまざまな支援・協力をさらにいただけるように会の運営を行った。

3 今回話題になった事項で特徴的なものとその概要

- ・ 新入生アンケート93.9%が「学習に力を入れたい」と回答。希望・期待に応えたい。
- ・ 職員が地域と関わりその歴史や文化等を研究することは、探究を教え進めるために必要である。コースを問わず地域の探究や問題解決に取り組んでほしい。
- ・ 蓼科学や地域学はさまざまな仕掛けでワクワク感もあり興味が湧く。町企画課、地域おこし協力隊をはじめ、高校生のフィールドとして地域を巻き込んで連携や体験等を進める中で、興味や疑問を持ち続けて取り組んでほしい。
- ・ ビジュアル的に情報発信をして伝えてほしい。
- ・ キャリア教育、体験、資格取得、大人との活動、憧れが頑張る力に繋がる。

4 成果と課題（学校評議員会以外の活用状況を含む）

- 素朴で素直、伸びしろの大きい本校生一人ひとりに3年間でさまざまな「力」をつけたい。学力、体力、生きる力…。地域からの支援や協力・連携のパイプをより太くして活用したい。
- 生徒の活動、自分(達)らしさを表現し活躍できる場面が生徒の成長や自信に繋がっていく。そうした場面、機会をいかに創出しカリキュラム、教育活動に位置付けていくことができるか課題である。
- いろいろな価値観や発想・アイデアで「仕掛け」を考えて、本校の教育目標や特色を生徒目線で捉えて、日常の授業や教育活動を通じて生徒に還元していきたい。